報道関係各位

2026年3月11日
株式会社クロス・マーケティング

自転車の青切符制度の認知はあるが、違反内容は知らない
危険な走行は「スマホのながら運転」

－自転車に関する調査（2026年）－

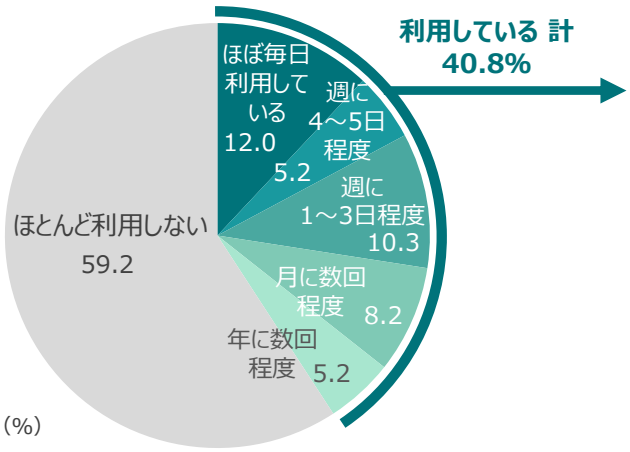
株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長兼CEO：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「自転車に関する調査（2026年）」を実施しました。2026年4月から自転車の交通違反にも反則金を科す「青切符制度」が導入されるため、自転車のルールやマナーについて気になる人もいるのではないでしょうか。今回は、「自転車の利用頻度」「利用している自転車の種類」「自転車の交通ルールを遵守しているか」「自転車の走行で危ない・気になると感じること」「自転車の青切符（反則金制度）導入の認知度」「青切符の対象として思いつく違反行為」について聴取しました。

◆調査結果の続きはこちらへ ⇒ https://www.cross-m.co.jp/report/trend-eye/20260311bicycle

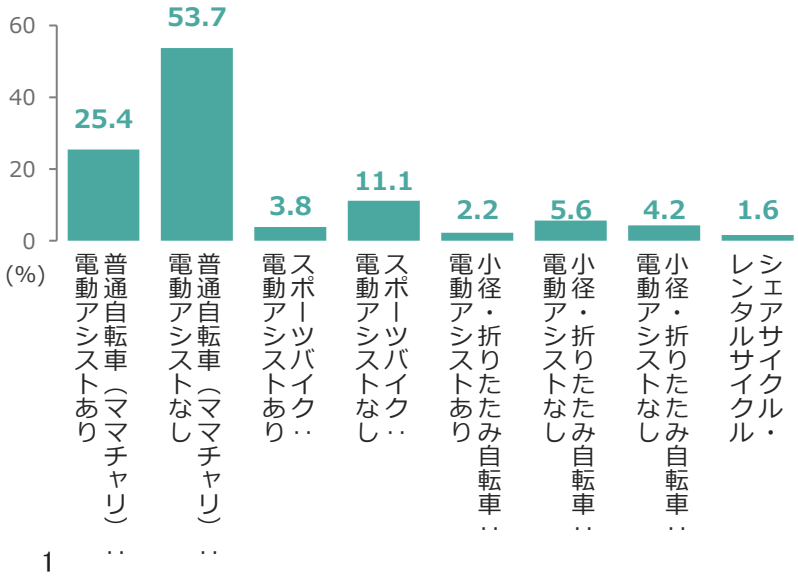
■調査結果

- ✓ **普段、自転車を「利用している」人は40.8%で、「ほぼ毎日利用している」は12.0%。**＜図1＞
- ✓ **利用している自転車のタイプは、「普通自転車：電動アシストなし」が53.7%と突出。次いで、「普通自転車：電動アシストあり」は25.4%と続く。**＜図2＞
- ✓ **自転車の交通ルールは「守っていると思う」が83.7%で、そのうち「常に意識して守る」は48.1%。**
  20代・60代は「常に意識して守る」が5割を超えるが、30代は42.2%と最も低い。＜図3＞
- ✓ **危ない・気になると感じる自転車の走行は、「スマホを見ながらの走行」「信号や一時停止を守らない」「車道の右側の逆走」がTOP3。**
  年代が上がるにつれて危ない・気になると感じる走行が増え、60代は特に高い。＜図4＞
- ✓ **自転車の青切符制度の導入は82.4%が認知しているものの、具体的な違反行為については「知っているものと知らないものがある」が半数を占める。**
  「あてはまる違反行為が何かすべて知っている」は7.6%にとどまる。20～40代は「制度の導入自体を知らなかった」が2割台。＜図5＞
- ✓ **青切符制度の対象になる違反行為として思いつくものは、「ながらスマホ」「イヤホン・ヘッドホンを使用しながらの走行」といった「ながら運転」が多くあげられた。**
  その他「信号無視」「一時停止の無視」「傘さし運転・片手運転」「二人乗り」「無灯火運転」といった通行ルール違反や周囲への安全配慮を欠く回答もみられた。また、赤切符の対象となる「飲酒運転」や努力義務である「ヘルメット未着用」を対象と誤認している回答も一定数みうけられた。＜図6＞

＜図1＞自転車の利用頻度（単一回答：n=1,100）



＜図2＞利用している自転車のタイプ（複数回答：n=449）
※普段、自転車を利用している人ベース

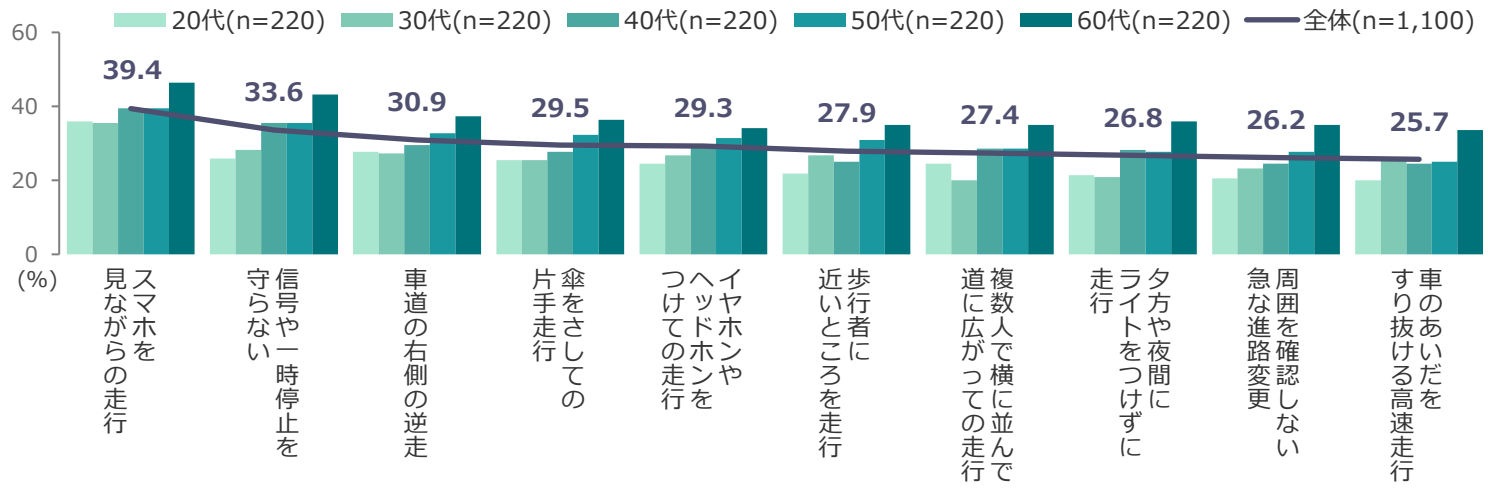


＜図3＞自転車の交通ルール遵守に対する意識（単一回答）※普段、自転車を利用している人ベース

	n=	常に意識して、守るようにしている	車の交通量や歩行者が多いときは、意識して守っている	気にはしているが、守っていないことが多い	ほとんど気にしていない	守っていると思う 計
全体	(449)	**48.1**	**35.6**	**11.6**	**4.7**	**83.7**
20代	(95)	52.6	31.6	10.5	5.3	84.2
30代	(90)	42.2	36.7	13.3	7.8	78.9
40代	(85)	48.2	34.1	11.8	5.9	82.4
50代	(95)	47.4	35.8	13.7	3.2	83.2
60代	(84)	50.0	40.5	8.3	1.2	90.5

(%)

＜図4＞自転車の走行で「危ない」「気になる」と感じること TOP10（複数回答）



＜図5＞自転車の青切符（反則金制度）導入の認知度（単一回答）

	n=	内容を認識している 計		制度導入の認知 計		内容を認識している 計	制度導入の認知 計
		あてはまる違反行為が何か、すべて知っている	知っているものと知らないものがあると思う	制度の導入は知っているが、何が違反になるかは全く知らない	制度の導入自体を知らなかった		
全体	(1,100)	**7.6**	**51.8**	**23.0**	**17.5**	**59.4**	**82.4**
20代	(220)	7.7	48.2	21.8	22.3	55.9	77.7
30代	(220)	9.5	42.3	23.6	24.5	51.8	75.4
40代	(220)	6.8	47.3	25.5	20.5	54.1	79.6
50代	(220)	9.1	55.0	22.7	13.2	64.1	86.8
60代	(220)	5.0	66.4	21.4	7.3	71.4	92.8

(%)

＜図6＞自転車の青切符制度の対象として思いつく違反行為（自由回答抜粋）

- スマホを見ながらのながら運転
- イヤホン・ヘッドホンを使用しながらの走行
- 信号無視
- 一時停止の無視
- 歩道の走行
- 右側走行・逆走
- 傘さし運転・片手運転
- 二人乗り
- 無灯火運転
- 飲酒運転（※青切符ではなく赤切符の対象）
- ヘルメット未着用（※努力義務であり青切符の対象外）

■調査項目

□属性設問
□自転車の利用頻度
□利用している自転車の種類
□自転車の交通ルールの意識度
□自転車の走行で「危ない」「気になる」と感じること
□自転車の青切符（反則金制度）導入の認知度
□自転車の青切符制度の対象として思いつく違反行為

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ https://www.cross-m.co.jp/report/trend-eye/20260311bicycle

■調査概要

調査手法　：インターネットリサーチ（クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用）
調査地域　：全国47都道府県
調査期間　：2026年3月6日（金）～ 9日（月）
調査対象　：20～69歳の男女
有効回答数：本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】
会社名　：株式会社クロス・マーケティング　https://www.cross-m.co.jp/
所在地　：東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
設立　：2003年4月1日
代表者　：代表取締役社長兼CEO　五十嵐 幹
事業内容：マーケティングリサーチ事業、マーケティング・リサーチに関わるコンサルテーション

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆
広報担当：マーケティング部　TEL：03-6859-1192　FAX：03-6859-2275
E-mail：pr-cm@cross-m.co.jp

«引用・転載時のクレジット表記のお願い»
本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。
＜例＞「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」